※令和４年度以降入学生用

学校番号	220

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学) 暮らしの中の書	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもがお絵描きに夢中になるように、筆で「描く」、そんな気分で文字が書けたら楽しいと思いませんか。墨だけではなく絵の具など、さまざまな画材を使って生活用品やインテリアに文字を入れて飾ったり、好きな言葉や詩・句などを書いて、いろいろな作品を作ってみましょう。

２　学習の到達目標

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現をするための技能を身に付けている。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的用途に即した表現形式、意図に基づいた表現を構想して工夫している。 ・創造された作品の価値と生活や社会における書の効用について考え、書のよさと美しさを味わい捉えている。	・自身の表現の意図に基づく表現及び鑑賞の幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	名前を書く	・自分の名前を筆で書く ・名刺を書く ・命名を制作	a:・基本的な用具・用材の使い方、特に小筆の使い方を理解している。 ・用途に即した名前の書き方を表現するための技能を身に付けている。 b:暮らしの中にあるさまざまな名前の表現を自分のイメージをもって構想し工夫している。 c:名前を書くための線質、字形、構成等の表現に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
	贈り物を書く	・表書きを書く ・のし袋に書く ・包装紙や紙袋に言葉を書く	a:季節の挨拶・お見舞・弔事などの形式や表現を理解し効果的な技能を身につけている。 b:表書きや贈り物の言葉を、自己の意図に基づいた独創的な表現を構想し、書のよさと美しさを味わい捉えている。 c:自分の意図に基づいた制作に主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
2学期	手紙を書く	・手紙、はがきの構成 ・一字書の手紙を書く ・カード、案内状を書く	a:さまざまな形式の表現方法にあった技能を身につけている。 b:・それぞれの用途に即した表現方法を理解し、構想を工夫している。 ・文字、形式、構成などを創意工夫している。 c:主体的に自分のイメージをもって作品制作に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

2学期	詩を書く	・ことわざを書く ・好きな詩、歌詞を書く	a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した表現の技能を身につけている。 b:自らの感動や思いに応じて詩文を選定し、用具・用材・全体の構成を工夫している。 c:主体的に個性をいかした作品制作に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント
3学期	書を飾る	・鏡作品を作る。 ・オリジナルカレンダー	a:自分の書を生活に取り入れるための表現活動としての技能を身につけている。 b:想いを伝えるために使用する素材・色など、用具・用材を工夫して捉えている。 c:素材と文字の関わりに関心をもち、主体的に創意工夫して、制作に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	授業ファイル 振り返り プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度